



第57期 中間株主通信 | 平成26年4月1日～平成26年9月30日



健康はキョーリンの願いです。

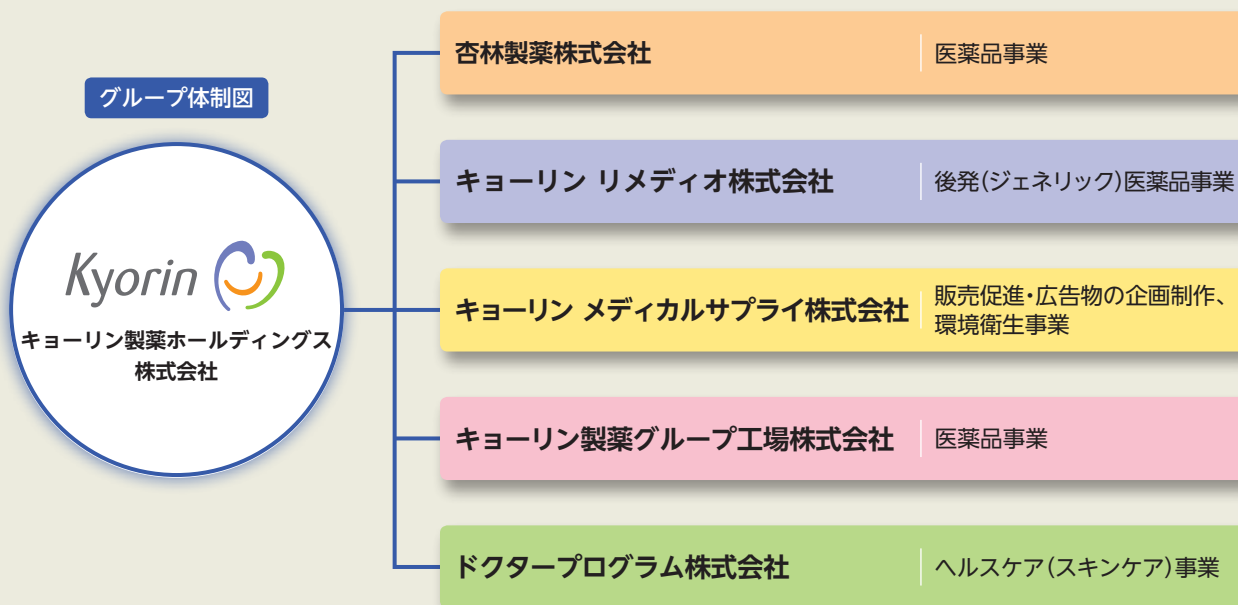
健康はキョーリンの願いです。

キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。

Profile

持株会社体制

「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。



中期経営計画「HOPE100－ステージ1－」の達成と一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。

当社グループの平成26年4月1日から平成26年9月30日までの第57期第2四半期(以下「中間期」という)につきまして、事業の概況をご報告申し上げます。



当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念の具現化に向け、当社グループの中核企業である杏林製薬(株)の創業100周年(平成35年)を見すえた長期ビジョン「HOPE100」及び中期経営計画「HOPE100－ステージ1－(平成22年度～27年度)」を策定し、その実現に真摯に取り組

んでおります。

平成26年度は、その5年目として、一層厳しさの増す経営環境下ではありますが、連結ベースでの業績向上に努めております。

これからも当社グループは、企業理念の具現化に向け、医薬品事業を中核とする多核的なヘルスケア事業ポートフォリオの構築により、「健康生活応援企業」への進化を目指します。

引き続き、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 山下正弘

長期ビジョン「HOPE100(平成22年度～35年度)」
HOPE: Aim for Health Of People and our Enterprises

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・発展させ、社内外に認められる健全な健康生活応援企業へと進化します。

中期経営計画
「HOPE100－ステージ1－(平成22年度～27年度)」



■ 当中間期の概況

当中間期の国内医薬品業界における事業環境は、本年4月に実施された薬価基準改定（業界平均改定率：2.65%）等の諸施策の影響により大きく変化し、市場成長は低調に推移しました。ヘルスケア事業では、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による反動減、消費税増税以降の個人消費の低迷等により、厳しい環境となりました。

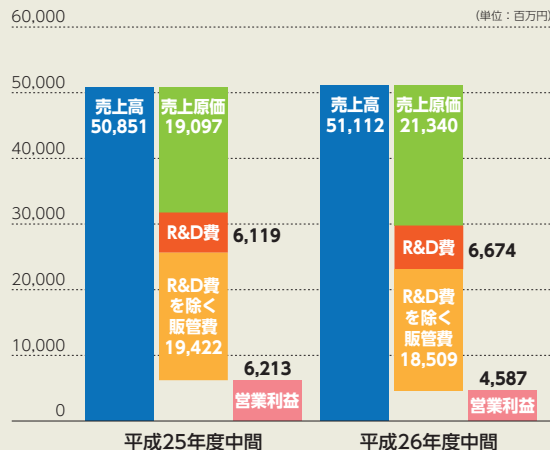
このような状況下、当社グループは、中期経営計画「HOPE100－ステージ1－（平成22年度～27年度）」に基づき、経営方針として「ファーマ・コンプレックス・モデル（PCモデル）への取り組み促進」「ヘルスケア新事業の成長加速化」等を掲げ、環境変化に対応した事業戦略を推進して、持続成長とステークホルダーの皆さまからの支持・評価の向上に努めました。

この結果、新医薬品事業及びヘルスケア事業の売上が前年同期に対して減少したものの、後発医薬品事業の売上が前年同期を大幅に上回る実績で推移したことから、売上高は511億12百万円と前年同期比2億60百万円（前年同期比0.5%増）の増収となりました。

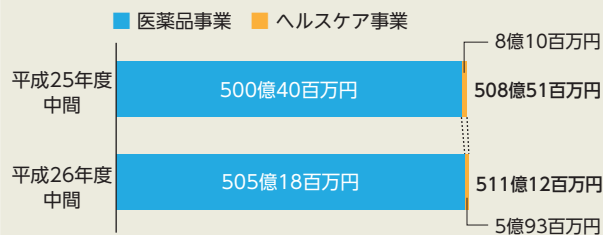
利益面では、販売費及び一般管理費は前年同期に対して3億57百万円減少（内、研究開発費：5億54百万円増）しましたが、薬価基準改定の影響、医薬品事業における製品の売上構成の変化等により原価率が上昇（前年同期比4.2ポイント）したため売上総利益は減少し、営業利益は45億87百万円（前年同期比26.2%減）、経常利益は48億98百万円（前年同期比25.0%減）、当四半期（中間）純利益は34億95百万円（前年同期比20.5%減）といずれも減益となりました。

なお、当中間配当金につきましては、1株につき20円をお支払いさせていただきます。

■ 損益の概要



■ セグメント別売上高



■ 連結業績予想（通期）（平成26年11月4日公表数値）

売上高	1,117億円	（前年同期比 0.3%増）
営業利益	138億円	（前年同期比 21.6%減）
経常利益	143億円	（前年同期比 21.8%減）
当期純利益	116億円	（前年同期比 3.5%減）

セグメントの状況



国内新医薬品 平成25年度に新発売した潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ坐剤(平成25年6月発売)」及び喘息治療配合剤「フルティフォーム(同11月発売)」が売上に寄与したものの、薬価制度改革等の影響により長期収載品の売上が減少し、売上高は404億22百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

杏林製薬(株)では、呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科を中心とする特定領域の医師、医療機関に営業活動を重点化するフランチャイズカスタマー(FC)戦略を推進しており、FC領域の新製品である「フルティフォーム」等の早期市場浸透に努めました。主力製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」が前年を上回りましたが、過活動膀胱治療剤「ウリトス」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」、去痰剤「ムコダイン」は前年を下回りました。

海外新医薬品 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン(導出先:米国アラガン社)」のロイヤリティ収入が、米国での後発品発売(平成25年10月)の影響により前年同期を下回ったことから、売上高は3億32百万円(前年同期比71.3%減)となりました。

また、杏林製薬(株)が本年10月に「イミダフェナシン」のロシア及び周辺諸国における独占的な開発権並びに販売権等を供与する基本契約をアルファーム社(ロシア)と締結いたしました。

後発(ジェネリック)医薬品 後発医薬品の使用促進策の追い風を捉えた営業活動を積極的に展開したことから、保険調剤薬局等の売上が大幅に増加しました。またキョーリン リメディオ(株)では、主導的共同開発の推進に努め、他社受託ビジネスが拡大し、売上高は77億90百万円(前年同期比50.3%増)となりました。

一般用医薬品他 主要製品である環境除菌・洗浄剤「ルピスタ」の売上は伸長しましたが、その他の売上が減少し、売上高は前年同期を下回り、19億72百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

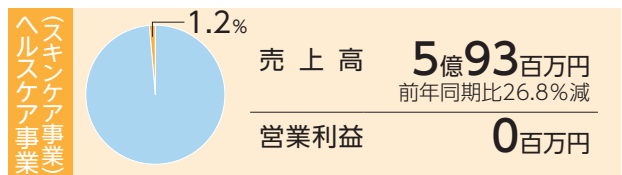
この結果、当セグメントの売上高は505億18百万円(前年同期比1.0%増)となり、営業利益は44億76百万円(前年同期比23.7%減)と増収・減益となりました。

研究開発の状況につきましては、世界の人々の健康に貢献できる新薬の創製と提供が新薬メーカーの存在意義を高め、持続成長に結びつくとの認識に基づき、自社創薬、導入品の開発、既存品のライフサイクルマネジメント(新効能・効果取得、剤型追加)に積極的に取り組み、特定領域(呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科)における魅力ある製品/パイプラインの構築を推進してまいります。

国内開発の状況としましては、ニューキノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977Y」のPh(フェーズ)Ⅱ臨床試験を本年6月より開始しました。また同7月に過活動膀胱治療薬「KRP-114V(ビベグロン)」の国内ライセンス契約をメルク社(米国)と締結し、日本国内における独占的な開発権及び製造販売権を取得しました。なお平成25年10月よりキッセイ薬品工業(株)と共同でPhⅠ臨床試験を開始した過活動膀胱治療薬「KRP-EPA605」につきましては、開発を中止することにいたしました。

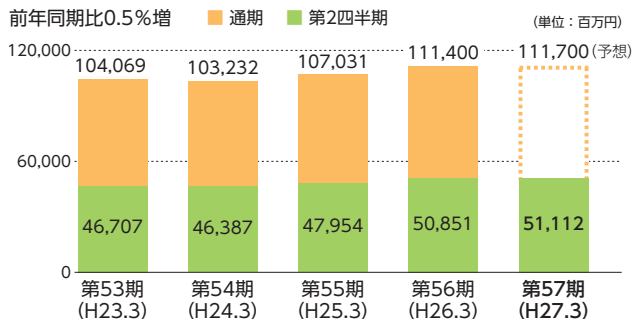
自社創薬活動におきましては、次世代の治療技術として期待され、かつアンメットメディカルニーズの高い疾患治療に結びつく可能性のある遺伝子治療用医薬品の開発に取り組むこととし、悪性胸膜中皮腫を対象とする遺伝子治療用医薬品「Ad-SGE-REIC製剤」の実用化に向け、開発プログラムを開始しました。同プログラムは、独立行政法人科学技術振興機構(JST)における産学共同実用化開発事業(NexTEP)に採択されています。

その結果、研究開発費は前年同期に対して5億54百万円増加し、66億74百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

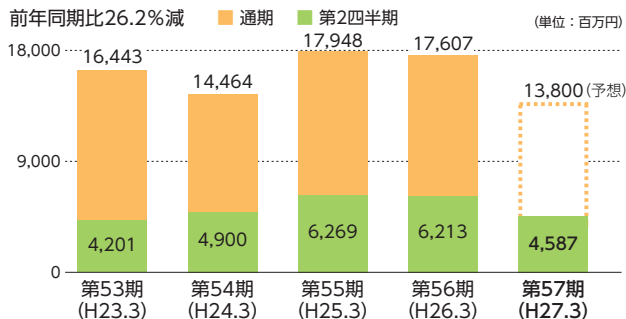


消費税増税以降の個人消費の低迷、企業間競争の激化により、スキンケア製品を取り扱うドクタープログラム(株)の売上が前年を下回り、当セグメントの売上高は5億93百万円(前年同期比26.8%減)、営業利益は0百万円(前年同期比99.3%減)となりました。

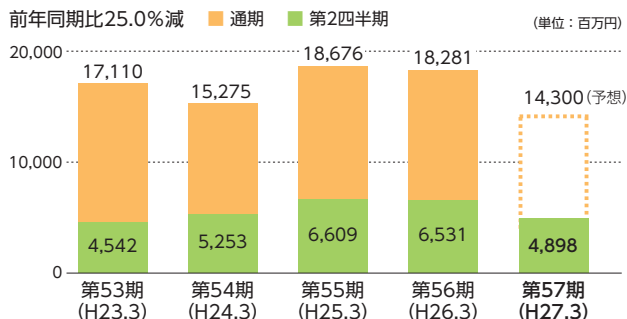
売上高 | 51,112百万円 >> 通期予想111,700百万円



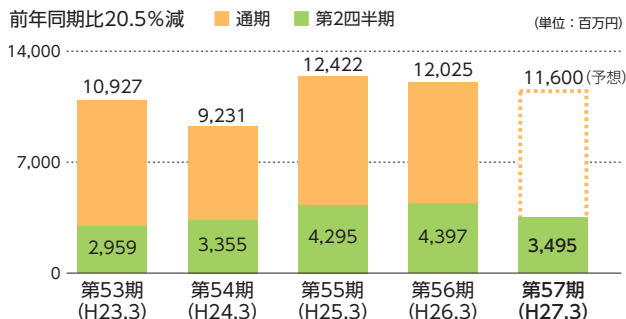
営業利益 | 4,587百万円 >> 通期予想13,800百万円



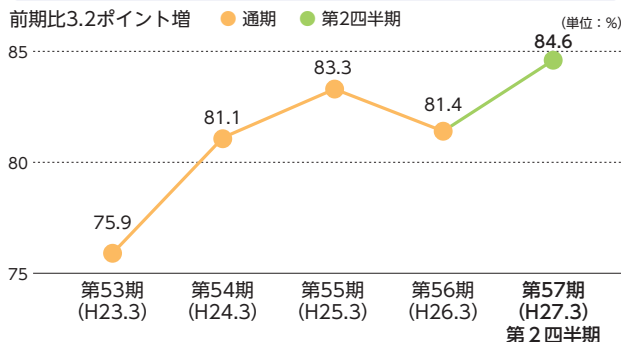
経常利益 | 4,898百万円 >> 通期予想14,300百万円



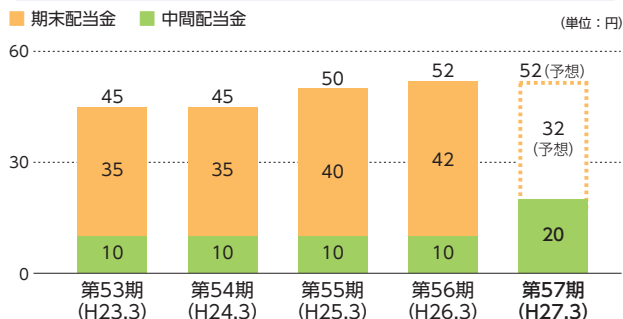
四半期(当期)純利益 | 3,495百万円 >> 通期予想11,600百万円



自己資本比率 | 84.6%



配当金 | 20円 >> 年間配当金予想52円



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	117,213	121,638
固定資産	47,141	47,740
有形固定資産	20,886	20,841
無形固定資産	1,276	1,198
投資その他の資産	24,978	25,700
資産合計	164,354	169,378
【負債の部】		
流動負債	23,032	28,401
固定負債	2,284	3,155
負債合計	25,317	31,557
【純資産の部】		
株主資本	135,629	135,273
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	130,503	130,145
自己株式	△325	△325
その他の包括利益累計額	3,407	2,548
純資産合計	139,037	137,821
負債純資産合計	164,354	169,378

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	51,112	50,851
売上原価	21,340	19,097
売上総利益	29,771	31,754
販売費及び一般管理費	25,183	25,541
営業利益	4,587	6,213
営業外収益	315	337
営業外費用	5	19
経常利益	4,898	6,531
特別利益	29	237
特別損失	32	184
税金等調整前四半期純利益	4,894	6,584
法人税、住民税及び事業税	1,692	1,810
法人税等調整額	△292	376
四半期純利益	3,495	4,397

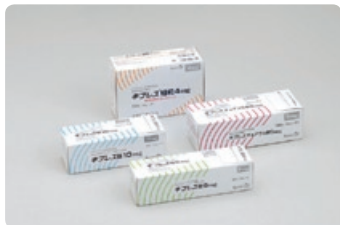
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	5,004	16,332
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,823	△159
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,945	△2,827
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△33	97
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△4,798	13,442
現金及び現金同等物の 期首残高	35,828	22,543
現金及び現金同等物の 四半期末残高	31,029	35,985

主要子会社である
杏林製薬(株)の
主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、魅力のある新薬の創製に努めると共に呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。



気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤
キプレス[®]



気道粘液調整・粘膜正常化剤
ムコタイン[®]



喘息治療配合剤
フルティフォーム[®]



過活動膀胱治療剤
ウリトス[®]



潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤
ペンタガ[®]



環境除菌・洗浄剤
ルビスタ[®]

脳血管障害・気管支喘息改善剤
ケタス

胃炎・胃潰瘍治療剤
アプレース

広範囲抗菌剤
バクシダール

活性型ビタミンD₃製剤
ロカルトロール

哺乳びん殺菌消毒剤
ミルトン

(平成26年11月4日現在)

Ph I ~承認 (上市)

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階				
				フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請	承認
KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラル社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさ等の諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬	国内	H26年3月			
				海外	アルミラル社 上市 フォレスト社 上市			
KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラル社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤と長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	国内	H25年8月			
				海外	アルミラル社 フォレスト社			
KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社	薬剤耐性グラム陽性菌(MRSA含む)に対して優れた抗菌力 高い安全性が期待される	国内	H25年9月			
KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社		国内	H26年6月			
KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	国内	H23年8月			
				海外	メルツ社			
KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト 新規メカニズムを有する免疫調整剤 既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	国内	H25年3月			
				海外	ノバルティス			
KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱のβ3受容体に作用することで膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	国内	メルク社 PhⅢ準備中			
				海外	メルク社			

開発プロセスの概要

フェーズⅠ

(第Ⅰ相試験)

同意を得た少数の健康志願者を対象に、安全性のテストを行う臨床試験

フェーズⅡ

(第Ⅱ相試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投薬方法などを確認する臨床試験

フェーズⅢ

(第Ⅲ相試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性及び安全性をチェックする臨床試験

申請

有効性・安全性が確認された新薬の製造販売を厚生労働省に申請

会社概要 (平成26年9月30日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	121名(連結2,482名)

株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,722,200株 (自己株式225,428株を除く)
当中間期末株主数	5,555名

役員 (平成26年12月1日 現在)

取締役及び監査役	やま した まさ ひろ 山 下 正 弘
代表取締役社長	みや した みつ とも 宮 下 三 朝
取締役	ほ がわ み のる 穂 川 稔
専務取締役	まつ もと とみ はる 松 本 臣 春
常務取締役	おぎ はら ゆたか 荻 原 豊
取締役	こ むろ かつ 小 室 勝
取締役	かな い さとる 金 井 覚
取締役	おぎ はら しげる 荻 原 茂
取締役(社外)	お ぎ き せん じ 尾 崎 仙 次
取締役(社外)	しか ない のり ゆき 鹿 内 徳 行
取締役(社外)	たか はし たかし 高 橋 卓
常勤監査役	みや した せい ゆう 宮 下 征 佑
常勤監査役	は ま ひろ あき 羽 磨 寛 晃
監査役(社外)	お ばた まさ じ 小 幡 雅 二
監査役(社外)	ひろ た やす ゆき 廣 田 保 之
監査役(社外)	こ にし ゆう じ 小 西 勇 二
執行役員	いし ぎき たか よし 石 崎 孝 義
上席執行役員	い とう よう 伊 藤 洋
執行役員	よし だ や よし や 吉 田 与志也

キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創薬ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。

主な事業内容

創薬研究 | 研究開発 |
製造 | 販売



キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

グループの後発(ジェネリック)医薬品事業子会社であり、「信頼されるジェネリック医薬品企業」を目指し、品質保証・安定供給・情報提供を徹底し、患者さんが安心して服用できる特色のある後発医薬品の提供に取り組んでいます。

主な事業内容

研究開発 | 製造 | 販売



キョーリン メディカルサブライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

医薬品に関連する広告の企画制作等を中心に、多岐にわたるコミュニケーションビジネスを手掛けると共に、環境衛生事業に積極的に取り組み、健康生活応援企業を目指すグループの一員として社会に貢献していきます。

主な事業内容

販売促進 | 広告物の企画制作 |
環境衛生事業



キョーリン製薬グループ工場株式会社

<http://www.kyorin-fc.co.jp/>

平成24年10月よりMSD(株)から取得した医薬品生産に関する資産をもとに、医療用医薬品の製造に関する事業を行っています。今後も高品質な製品の安定的提供、製造技術の向上とコスト効率化を目指していきます。

主な事業内容

製造 | 販売



ドクタープログラム 株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤としています。今後もこれまで市場に存在しなかった新しい製品を創造し、女性の美と健康に貢献していきます。

主な事業内容

スキンケア商品の開発と販売



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月に開催
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
(特別口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問合せ先) 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほ証券株式会社
本店及び全国各支店

公告掲載紙 日本経済新聞

(ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記お取扱店(株主メモ参照)及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて 社長ご挨拶、企業理念・ビジョン、コーポレートガバナンス、会社概要、組織図 等

事業内容 新医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品他、ヘルスケア事業 等

株主・投資家情報 財務・業績、IRライブラリ、アニュアルレポート、株式情報 等

グループ経営戦略、CSR活動、お問い合わせ 等

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

TEL:03-3525-4700(代)



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL: info@e-kabunushi.com

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

